

## 関連文献リスト

## 関連文献リスト

ここでは、阪神淡路大震災に関連しておこなわれた、主として避難所にかかわる心理学的な研究、および論説を資料として掲載する。

なお、このリストは本報告書の執筆者が、できる限り漏れのないように、それぞれの手で収集した論文を掲載したものである。したがって、すべての研究を網羅したものではない。

- 天国邦博・呂恒俊・望月利男 1995 阪神・淡路大震災における豊中市の家屋被害と人的被害に関する一考察 東京都立大学都市研究所 総合都市研究, 第57号, 87-103.
- 渥美公秀・杉万俊夫・森永壽・ハツ塚一郎 1995 阪神大震災におけるボランティア組織の参与観察研究－西宮ボランティアネットワークと阪神大震災地元NGO救援連絡会議の事例－ 実験社会心理学研究, 35(2), 218-231.
- 江尻行男 1995 阪神・淡路大震災とボランティア活動－課題と展望－ 東北福祉大学社会福祉研究室報, 第5報, 130-137.
- 荻本孝久・望月利男 1995 阪神・淡路大震災の教訓と今後の地震防災課題－都市型大震災のトータルイメージの重要性－ 東京都立大学都市研究所 総合都市研究, 第57号, 113-124.
- 林春男 1995 阪神・淡路大震災後のこころの傷のケア 月刊地球, 号外No. 13, 253-259.
- 林春男 1995 阪神・淡路大震災における災害対応－社会科学的検討課題 実験社会心理学研究, 35(2), 194-206.
- 平井和子・奥田豊子・増田俊哉・山口英昌・讀田康治 1995 阪神・淡路大震災避難所における被災者の健康に関する実態調査 大阪市立大学生生活科学部紀要, 第43巻, 19-23.
- 廣井脩 1995 阪神・淡路大震災と災害情報 東京大学社会情報研究所 調査研究紀要, No6, 85-109.
- 城仁士・小花和尚子 1995 阪神大震災による災害ストレスの諸相 実験社会心理学研究, 35(2), 232-242.
- 角田万里子・高尾文子・星野英子・谷川晶子 1995 阪神・淡路大震災における本学短大生の環境対応と食行動について 甲南女子大学研究紀要, 第32号, 77-92.
- 河合志穂・愛場庸雅・奥田豊子 1995 事例報告阪神・淡路大震災被災者における味覚障害の訴えについて 大阪市立大学生生活科学部紀要, 第43巻, 1-7.
- 小林博 1995 阪神大震災の「二次災害」犠牲者 神戸大学発達科学部研究紀要, 第3巻第1号, 87-95.
- 小坂俊吉・塩野計司 1995 地震時の危機管理－阪神・淡路大震災における広域消防応援と高齢者救援の実態－ 東京都立大学都市研究所 総合都市研究, 第57号, 151-159.
- 倉石哲也 1995 ー実践報告ー 阪神大震災；避難所へのレクリエーション・サービスの考察 大阪府立大学社会福祉学部社会問題研究, 第45巻第1号, 111-128.
- 倉田和四生 1995 阪神大震災とコミュニティ活動 関西学院大学社会学部紀要, 第73号, 1-12.
- 前澤幸喜・三村都與仁・服部麻里・岩崎瑞恵・徳永佳次・宇田康子・津田通夫 1995 阪神・淡路大震災後の非行少年の生活に関する研究(1) 犯罪心理学研究, 33(特別号), 116-117.
- 三星昭宏・秋山哲男・田中直人・新田保次・土井聡・北川博巳・飯田克弘・杉山公一 1995 阪神・淡路大震災における障害者の被災と今後の課題 東京都立大学都市研究所 総合都市研究, 第57号, 141-150.
- 三村都與仁・前澤幸喜・服部麻里・岩崎瑞恵・徳永佳次・宇田康子・津田通夫 1995 阪神・淡路大震災後の非行少年の生活に関する研究(2) 犯罪心理学研究, 33(特別号), 118-119.
- 奥田豊子・平井和子・増田俊哉・山口英昌・讀田康治 1995 阪神・淡路大震災避難所における被災者の食生活に関する実態調査 大阪市立大学生生活科学部紀要, 第43巻, 13-18.

- 奥野卓司 1995 阪神大震災におけるメディアの実際と限界：神戸市での面接事例より 甲南大学紀要・文学編, vol. 98, 56-113.
- 大倉一範・山川仁・秋山哲男・中林一樹 1995 住民参加システムが震災復興初動期におけるまちづくりに与えた影響について 東京都立大学都市研究所 総合都市研究, 第57号, 173-184.
- 大谷貴美子・小西洋太郎・枇杷木ひとみ・春木敏 1995 栄養士から見た阪神・淡路大震災 - アンケート調査からの一考察 - 大阪市立大学生生活科学部紀要, 第43巻, 25-31.
- 塩野計司 1995 兵庫県南部地震の人的被害-過去とを結ぶ4つのグラフ- 東京都立大学都市研究所 総合都市研究, 第57号, 105-112.
- 杉万俊夫・渥美公秀・永田素彦・渡邊としえ 1995 阪神大震災における避難所の組織化プロセス 実験社会心理学研究, 35(2), 207-217.
- 高木修・玉木和歌子 1995 阪神・淡路大震災におけるボランティア - 避難所で活動したボランティアの特徴 - 関西大学『社会学部紀要』, 第27巻第2号, 29-60.
- 高木修・田中優 1995 阪神大震災における避難者と援助活動 - 避難生活における問題とそれへの対処方法 - 関西大学『社会学部紀要』, 第27巻第1号, 33-57.
- 高橋儀平・秋山哲男 1995 高齢者・障害者の社会参加と災害対策-災害に強い福祉のまちづくりに向けて- 東京都立大学都市研究所 総合都市研究, 第57号, 161-172.
- 高梨成子・吉井博明 1995 阪神・淡路大震災におけるボランティア活動と今後の課題 東京都立大学都市研究所 総合都市研究, 第57号, 125-140.
- 山口英昌・平井和子・奥田豊子・増田俊哉・讀田康治・小西洋太郎・大谷貴美子 1995 阪神・淡路大震災調査、救援活動報告 - 食品栄養科学科における活動 - 大阪市立大学生生活科学部紀要, 第43巻, 9-11.
- 山本哲朗 1995 1995年阪神大震災直後に実施した「山口県下における地震とその防災意識」の調査報告 山口大学工学部研究報告, 第46巻第1号, 63-74.
- 荒堀浩文 1996 阪神・淡路大震災後の教師の対応と子どもたちの心のケア問題 教育心理学年報, 36, 165-174.
- 芦田宏・勝木洋子 1996 震災の保育内容への影響とボランティア活動 - 保育内容に関するアンケート調査から - 姫路短期大学研究報告, 第41巻第1号, 65-74.
- 榎本博明 1996 地震災害心理学の展望(1)地震災害時の行動と心理 名城大学人間科学研究, 7, 1-26.
- 榎本博明 1996 地震災害心理学の展望(2)被災者の心理的ストレスとその対処 名城大学人間科学研究, 7, 27-62.
- 榎本博明 1996 地震災害心理学の展望(3)住民のつながりと地域社会の防災力 名城大学 教職課程部紀要, 第29巻, 73-99.
- 榎本博明 1996 地震災害心理学の展望(4)被災者としての救援者 名城大学 教職課程部紀要, 第29巻, 101-125.
- 蜂屋真 1996 阪神・淡路大震災：1995年1月17日の学生の行動とパニック 流通科学大学論集 人文・自然編, 第9巻第1号, 31-52.
- 原田隆司 1996 「ボランティア」の多重性 - 非日常の中の日常：1995年西宮(1) - 甲南女子大学人間科学年報, 第21号, 47-61.
- 干川剛史 1996 もう一つのボランティア元年-阪神・淡路大震災と情報ボランティア 徳島大学社会科学部研究, 第9号, 207-265.
- 池田三郎・酒井泰弘・高尾厚 1996 阪神大震災リスク問題について-はじめに- 日本リスク研究学会誌, 7(2), 1-2.
- 今駒博信 1996 幸いにも回避できたもうひとつの大災害-高圧液化ガスタンクの危険性について- 日本リスク研究学会誌, 7(2), 31-34.

- 井上敏明 1996 《大震災における救助者の心理と人間性 第二報》「意識調査」における真相面接の果たす役割とその効果—人間性の浮き彫りをめぐって— 上智大学人間学会 人間学紀要, 26, 83-96.
- 上川庄二郎 1996 大災害における消防活動の現場 日本リスク研究学会誌, 7(2), 17-24.
- 勝木洋子 1996 阪神大震災ボランティアについて —保育専攻学生のエゴグラムと体験からの検討— 姫路短期大学研究報告, 第41巻第1号, 25-32.
- 川島啓二 1996 震災時における学校と避難所の管理運営 —神戸市中心部についての調査報告— 芦屋大学論叢, 第24号, 41-52.
- 木下富雄 1996 地震防災の危機管理—地方自治体の場合— 日本リスク研究学会誌, 7(2), 3-12.
- 岸本幸臣・瀬部明 1996 阪神大震災と住宅復興(1) —避難所生活者の実態と閉鎖の問題点— 大阪教育大学紀要 第II部門, 第44巻第2号, 127-136.
- 北岡修 1996 今地震における西宮保健所の活動 日本リスク研究学会誌, 7(2), 42-43.
- 小林実 1996 阪神大震災と道路交通 日本リスク研究学会誌, 7(2), 25-30.
- 小松秀雄 1996 神戸のまちづくりの社会学的再考 —阪神大震災の教訓— 神戸女学院大学論集, 第43巻第1号, 43-61.
- 小坂俊吉・宮野道雄・住吉ゆう子・塩野計司 1996 阪神・淡路大震災における社会福祉施設の応急対応と支援活動 東京都立大学都市研究所 総合都市研究, 第61号, 111-121.
- 松井豊 1996 広域災害後の被災者の心理 警察学論集, 第49巻第5号, 45-64.
- 宮野道雄・村上ひとみ・西村明儒・村上雅英・大西一嘉 1996 神戸市東灘区における人的被害と救助活動 東京都立大学都市研究所 総合都市研究, 第61号, 145-154.
- 室崎益輝 1996 リダンダンシー—都市における直下型地震への対応— 日本リスク研究学会誌, 7(2), 13-16.
- 森浩二 1996 阪神大震災 —大地震危機災害時にみる英語メディアの報道分析 帝塚山短期大学紀要: 人文・社会科学 自然科学編, 第33号, 62-81.
- 村山武彦 1996 地震災害リスクに対する防災アセスメントの課題 日本リスク研究学会誌, 7(2), 68-69.
- 長瀬荘一・太田垣紀子 1996 非常災害時における学校運営上の諸課題と対策 —阪神・淡路大震災への対応で求められた学校管理職の役割 神戸大学発達科学部研究紀要, 第3巻第2号, 247-261.
- 中林一樹 1996 阪神・淡路大震災の全体像と防災対策の方向 東京都立大学都市研究所 総合都市研究, 第61号, 211-234.
- 中島正樹 1996 阪神大震災におけるマス・メディア —テレビの報道を中心にして 関西大学大学院『人間科学』, 第44号, 131-153.
- 西山美瑛子 1996 関西学院大学の学生が考えた大震災時における連絡法 関西学院大学社会学部紀要, 第74号, 169-181.
- 岡田憲夫 1996 複合災害のリスクマネジメント—防災の新パースペクティブ— 日本リスク研究学会誌, 7(2), 61-67.
- 岡本英生・徳永佳次・三村都與仁・前澤幸喜・服部麻理・岩崎瑞恵・宇田康子・津田通夫・大野太郎 1996 非行少年・犯罪者に見られる阪神・淡路大震災の影響—非行・犯罪との関連についての事例研究— 犯罪心理学研究, 34(1), 43-50.
- 奥田豊子・平井和子・増田俊哉・山口英昌・続田康治・高尾文子・宮野道雄 1996 阪神・淡路大震災避難所における健康調査: 緑黄色野菜および魚介類の摂取頻度と愁訴の関係 日本生理人類学会誌, 1(2), 101-107.
- 大野太郎・山田富美雄・服部祥子 1996 阪神・淡路大震災による非行少年のストレス 日本生理人類学会誌, 1(4), 215-222.

- 坂野雄二・嶋田洋徳・辻内琢也・伊藤克人・赤林朗・吉内一浩・野村忍・久保木富房・末松弘行  
1996 阪神・淡路大震災における心身医学的諸問題（Ⅰ）——PTSDの諸症状と心理的ストレス反応を中心として 心身医学, 36, 649-656.
- 関口哲生 1996 《大震災における救助者の心理と人間性 第一報》死に直面した人たちの心理調査分析から人間性を考える 上智大学人間学会 人間学紀要, 26, 69-81.
- 澁澤重和 1996 阪神大震災の義援金仲介にみるマスメディアの役割（第2報） 学苑：生活美学紀要, 第678号（昭和女子大学近代文化研究）, 101-113.
- 澁澤重和 1996 阪神大震災の義援金仲介にみるマスメディアの役割（第3報）—山梨日日新聞の場合（下）— 学苑：生活美学紀要, 第682号（昭和女子大学近代文化研究）, 16-25.
- 鈴木裕久・村田光二・川上善郎・福田充 1996 「頑健な」災害警報作成の方策に関する研究（Ⅰ）—音声警報の実験報告 東京大学社会情報研究所 調査研究紀要, No. 8, 1-52.
- 田端太 1996 被災地におけるレクリエーション・ボランティアについて—その1— 役割とその活動の現状 神戸学院大学人文学会年報・人間文化H&S, 第6号, 15-27.
- 高木慶子 1996 復興と「心のケア」の本質 日本リスク研究学会誌, 7（2）, 44-47.
- 高木修・吉川聡 1996 阪神大震災による避難者の生活と避難者に対する援助活動 交通科学, 25, No. 1, No. 2 合併号, 74-79.
- 高木慶子 1996 災害と日本人の精神文化—阪神・淡路大震災を体験しての再考— 上智大学人間学会 人間学紀要, 26, 45-67.
- 高木修・福岡欣治 1996 阪神・淡路大震災における被災者を取りまく援助ネットワーク—親戚・知人の役割を中心にして— 関西大学『社会学部紀要』, 第27巻第3号, 57-106.
- 高木修・玉木和歌子 1996 阪神・淡路大震災におけるボランティア—災害ボランティアの活動とその経験の影響— 関西大学『社会学部紀要』, 第28巻第1号, 1-62.
- 高尾厚 1996 現行地震保険制度の改善に向けて 日本リスク研究学会誌, 7（2）, 48-51.
- 徳富五月・松井宗彦 1996 兵庫県南部地震に見られる安全システムの再考—特に人間系に含まれる「こころ」のケアについて— 茨城大学教養部紀要, 第30号, 237-251.
- 豊田利久 1996 阪神大震災のマクロ経済的諸問題 日本リスク研究学会誌, 7（2）, 52-60.
- 辻内琢也・吉内一浩・嶋田洋徳・伊藤克人・赤林朗・熊野宏昭・野村忍・久保木富房・坂野雄二・末松弘行 1996 阪神・淡路大震災における心身医学的諸問題（Ⅱ）——身体的ストレス反応を中心として 心身医学, 36, 657-665.
- 山中昭夫 1996 阪神大震災における我々のボランティア活動の意義 日本リスク研究学会誌, 7（2）, 35-41.
- 米浪信男 1996 [書評]朝日新聞大阪本社「阪神・淡路大震災誌」編集委員会編『阪神・淡路大震災—1995年兵庫県南部地震』朝日新聞社、1996年刊、全733頁 神戸国際大学経済経営論集, 16巻第2号, 201-208.
- 米浪信男 1996 「阪神・淡路大震災」論文目録（2） 神戸国際大学紀要, 第51号, 128-133.
- 荒堀浩文 1997 阪神・淡路大震災後の教師の対応と子どもたちの心のケア問題 教育心理学年報, 36, 165-174.
- 馬場昌子 1997 仮設住宅での生活（その2）—阪神・淡路大震災における支援ネットワーク活動を通じた住居改善の試み— 繊維製品消費科学, 38（4）, 205-211.
- 百々尚美・大野太郎・山田富美雄・服部祥子 1997 震災後の子どものストレスに及ぼす震度の影響—バウムテストにおける空間利用を指標として— 日本生理人類学会誌, 2（3）, 39-42.
- 藤田正 1997 被災者として阪神・淡路大震災の被災体験から学んだこと 大阪女子大学人間関係学科 人間関係論集, 14, 27-69.
- 林春男 1997 防災学にとって「こころのケア」とは何か 繊維製品消費科学, 38（10）, 536-542.

- E.Hideshima and N.Okada 1997 Design of Fail-Safe Urban Infrastructure Systems Against Multiplex Disasters: A Petri-Net Approach in Case of Harbor and Its Hinterland Japanese Journal of Risk Analysis, 8(2), 85-93.
- 檜谷美恵子 1997 震災復興とまちづくり 繊維製品消費科学, 38(6), 295-302.
- 平井和子 1997 震災時の食生活の実態と対策 繊維製品消費科学, 38(7), 350-355.
- 岩崎 錦 1997 震災と衣生活 繊維製品消費科学, 38(9), 474-477.
- T.Kinoshita and K.Yoshino 1997 Risk Perception and Risk Avoidance Behavior in Connection with the Great Hanshin Earthquake -Forecast and Preparation for an Earthquake- Japanese Journal of Risk Analysis, 8(2), 114-127.
- 岸本幸臣 1997 仮設住宅での生活(その1) -住宅問題としての仮設住宅- 繊維製品消費科学, 38(4), 200-204.
- 北村裕之・宮野道雄・土井正 1997 阪神・淡路大震災による避難生活における諸問題: その1. 避難所および待機所 日本生理人類学会誌, 2(1), 15-26.
- 今野裕昭 1997 震災被災者の生活再建とコミュニティ -神戸市長田区真野地区の事例- 宇都宮大学教育学部紀要, 第47号第1部, 71-88.
- 黒田洋司・廣井脩 1997 阪神・淡路大震災と市町村の広報活動 東京大学社会情報研究所 調査研究紀要, No. 9, 57-86.
- 日下菜穂子・中村義行・山田典子・乾原正 1997 災害後の心理的变化と対処方法-阪神・淡路大震災6か月後の調査- 教育心理学研究, 45(1), 51-61.
- 宮野道雄 1997 人的被害と予防 繊維製品消費科学, 38(3), 128-135.
- T.Morioka, N.Yoshida and T.Fujita 1997 Risk Management in Rescue and LifeSupport in Kobe Earthquake Japanese Journal of Risk Analysis, 8(2), 94-103.
- 中村功・廣井脩 1997 災害時の安否情報とメディアミックス 東京大学社会情報研究所 調査研究紀要, No. 10, 155-180.
- 中西典子 1997 震災を通してみる地域と高齢者-神戸市長田区に暮らす高齢者とその地域的支援の実状- 愛媛大学教育学部紀要 人文・社会科学, 第30巻第1号, 103-132.
- 西本実苗・高橋京子・寺田明代 1997 震災後における大学生の心身症に関する検討 関西学院大学臨床教育心理学研究, 第23巻第1号, 73-84.
- 野上奈生・住友育世・神藤貴昭・齋藤誠一・佐藤眞子・吉田圭吾・清水民子・柳原利佳子・山本智一・森田英夫・寺村忠司・坂口喜啓・田中孝尚 1997 阪神・淡路大震災の心理的影響に関する研究Ⅲ -第3回調査報告- 神戸大学発達科学部研究紀要, 第5巻第1号, 27-35.
- 野口啓示・坪倉裕子・谷口康史・立木茂雄 1997 震災ストレスとエコロジカルモデル1 -構造方程式モデルによる震災ストレスとコーピングの検討 関西学院大学社会学部紀要, 第76号, 101-115.
- 荻田純久・遠藤史子・広利吉治 1997 大学心身保健に対する認知的アプローチの基礎研究-震災後のP-Fスタディと心身症状との関連から- 関西学院大学文学部教育学科 研究年報, 23号, 19-28.
- 奥田豊子 1997 被災者の栄養と健康 繊維製品消費科学, 38(8), 410-415.
- 大野太郎・岡本英生・三村都與仁・徳永佳次・前澤幸喜・岩崎瑞恵・服部麻理・大山勝典 1997 非行少年の震災反応 犯罪心理学研究35(1), 1-11.
- 佐伯恵子・山口由美子・曾根美和・山田富美雄・服部祥子 1997 被災地中学生の心身の不調感とその影響因子 大阪府立看護大学紀要, 3(1), 3-14.
- 酒井高正 1997 阪神・淡路大震災後の人口の動き 奈良大学紀要, 第25号, 79-85.
- 酒居淑子 1997 震災と生活情報 繊維製品消費科学, 38(11), 605-610.
- 清水裕・水田恵三・秋山学・浦光博・竹村和久・西川正之・松井豊・宮戸美樹 1997 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究 社会心理学研究, 13(1), 1-12.

- 神藤貴昭・野上奈生・住友育世・齋藤誠一・佐藤眞子・吉田圭吾・柳原利佳子・山本智一・森田英夫  
・寺村忠司・坂口喜啓・田中孝尚・舛井律子・松田信樹・山口昌澄・二宮奈津子・宅香菜子  
1997 阪神・淡路大震災の心理的影響に関する研究 神戸大学発達科学部研究紀要, 第4巻第2号, 59-73.
- 住友育世・野上奈生・齋藤誠一・佐藤眞子・吉田圭吾・清水民子・柳原利佳子・山本智一・森田英夫  
・寺村忠司・坂口喜啓・田中孝尚・神藤貴昭・舛井律子・松田信樹・山口昌澄・二宮奈津子・宅香菜子  
1997 阪神・淡路大震災の心理的影響に関する研究Ⅱ -第1回調査の報告- 神戸大学発達科学部研究紀要, 第5巻第1号, 15-25.
- 鈴木裕久・川上善郎・村田光二・福田充 1997 「頑健な」災害警報作成の方策に関する研究(Ⅱ)  
-テレビ警報におけるテロップの効果に関する実験報告 東京大学社会情報研究所 調査研究紀要, No. 9, 1-36.
- A.Takao 1997 Some Proposals to Improve the Earthquake Insurance System in Japan: A Lesson from the Great Hanshin Earthquake Japanese Journal of Risk Analysis, 8(2), 104-113.
- 田中優 1997 阪神・淡路大震災における『こころのケア』に関する新聞報道について 関西大学大学院『人間科学』, 第46号, 121-140.
- 田中優・高木修 1997 阪神・淡路大震災による遠隔地仮設住宅における被災者の研究(1)-地震から1年後の被災者の身体的・精神的健康状態- 実験社会心理学研究, 37(1), 76-84.
- 豊島慎一郎 1997 震災転出者に関する分析:「西宮市から転出者調査」から 関西学院大学社会学部紀要, 第78号, 133-143.
- 坪倉裕子・野口啓示・谷口康史・立木茂雄 1997 震災ストレスとエコロジカルモデル2 -自由記述欄の回答の質的分析- 関西学院大学社会学部紀要, 第76号, 117-130.
- 土屋基規・添田久美子 1997 震災と学校運営に関する調査研究(1) 神戸大学発達科学部研究紀要, 第4巻第2号, 183-199.
- 宇田亜澄 1997 大学生における自然災害と心身症状に関する検討 関西学院大学臨床教育心理学研究, 第23巻第1号, 21-33.
- 山田富美雄 1997 子どもの震災ストレスの実態とストレスマネジメント教育 繊維製品消費科学, 38(11), 543-548.
- 山田富美雄 1997 子どもの震災ストレス:ケア・マニュアル作成への指針 タイプA, 8(1), 55-60.
- 山住勝広・上野たかね 1997 阪神大震災の体験と総合的学習 大阪教育大学紀要 第V部門, 第46巻第1号, 15-37.
- 矢守克也 1997 阪神大震災における避難所運営-その段階的変容プロセス- 実験社会心理学研究, 37(2), 119-137.
- 八ツ塚一郎・矢守克也 1997 阪神大震災における既存組織のボランティア活動-日本社会とボランティアの変容- 実験社会心理学研究, 37(2), 177-194.
- 藤田正 1998 阪神淡路大震災・働く被災女性公務員(管理職)の手記分析 大阪女子大学人間関係学科 人間関係論集, 15, 51-75.
- 後藤美樹 1998 神戸における「フィリピン人コミュニティ」の救援活動 神戸大学国際協力研究科 国際協力論集, 第5巻第3号, 89-110.
- 初瀬龍平 1998 被災外国人の類型:分析のための覚え書き 神戸大学国際協力研究科 国際協力論集, 第5巻第3号, 85-88.
- 干川剛史 1998 情報ボランティアから災害情報NPOへ 徳島大学社会科学部研究, 第11号, 139-182.
- 干川剛史 1998 市民コンピュータネットワークの現在-阪神・淡路大震災から今日まで- 早稲田大学アジア太平洋研究センター社会科学討究, 127, 第43巻第3号, 237-268.
- 井上幸子・荻野理恵・片山裕子・戸田みな子 1998 「阪神・淡路大震災」避難所における集団遊戯療法の意義 心理臨床学研究16(2), 162-173.

- 片山裕 1998 フィリピンの新聞による阪神淡路大震災－救助隊派遣辞退をめぐって－ 神戸大学国際協力研究科 国際協力論集, 第5巻第3号, 47-84.
- 川端信正・廣井脩 1998 大地震時の放送コメントはどうあるべきか 東京大学社会情報研究所 調査研究紀要, No. 11, 193-205.
- 岸本幸臣・小倉育代・林美恵子・杉本裕美 1998 阪神大震災と住宅復興(Ⅱ)－仮設住宅入居者の評価と退去計画の問題点－ 大阪教育大学紀要 第Ⅱ部門, 第46巻第2号, 119-130.
- ロニー・アレキサンダー 1998 被災外国人の研究「震災研究」をとおしての課題 神戸大学国際協力研究科 国際協力論集, 第5巻第3号, 175-179.
- 増田あゆみ 1998 大震災が促進したコミュニティ・デベロップメント中華系コミュニティにみる「地域化」と「国際化」(英文) 神戸大学国際協力研究科 国際協力論集, 第5巻第3号, 111-126.
- 森田豊子 1998 阪神・淡路大震災後の外国人相談窓口の変化 神戸大学国際協力研究科 国際協力論集, 第5巻第3号, 127-146.
- 長嶋俊介 1998 阪神淡路大震災における相互扶助システム～淡路・奥尻・島原事例の比較考察～ 神戸大学国際協力研究科 国際協力論集, 第5巻第3号, 1-20.
- 西田裕紀子・野上奈生・住友育世・神藤貴昭・齋藤誠一・佐藤眞子・吉田圭吾・清水民子・柳原利佳子・山本智一・森田英夫・寺村忠司・坂口喜啓・田中孝尚 1998 阪神・淡路大震災の心理的影響に関する研究Ⅳ－第4回調査報告－ 神戸大学発達科学部研究紀要, 第5巻第2号, 335-346.
- 岡本好司・中島弘徳・中島重徳・高石昇・田中智子・磯野多恵子・加地孝仁・高野知子 1998 阪神・淡路大震災被災者における post-traumatic stress disorder 調査(第1報)－日本心身医学会近畿支部第二次ボランティア活動報告Ⅰ－ 心身医学, 38, 607-615.
- 下村明弘 1998 住宅復興政策の経済的效果とその課題－公営住宅の評価を中心として－ 神戸大学国際協力研究科 国際協力論集, 第5巻第3号, 59-83.
- 戸田佳子 1998 阪神・淡路大震災後の在日ベトナム人の生活再建 神戸大学国際協力研究科 国際協力論集, 第5巻第3号, 147-174.
- 豊田利久・瀬川智子 1998 緊急援助における国際協力－阪神大震災の被災地で学んだこと－ 神戸大学国際協力研究科 国際協力論集, 第5巻第3号, 21-46.
- 土屋基規・添田久美子 1998 震災と学校運営に関する調査研究(2) 神戸大学発達科学部研究紀要, 第5巻第2号, 245-260.
- 八ツ塚一郎 1998 阪神大震災における既成組織のボランティア活動－参与観察と聞き取り調査－ 奈良大学紀要, 26号, 151-165.